地域情報誌　2022年８月号　第148号

みんなの和で　元気な暮らし
未来につなぐ　里山おばら

おばらだより

桜バス 予約はこちら ☎ 65-3131

今月の表紙　もしもの時に備えて「着衣泳」の講習会を開催

みなさんは「着衣泳（ちゃくいえい）」という護身術をご存じでしょうか？着衣泳とは、日常的な衣服を着用したまま「浮いて救助を待つ」技術のことです。この着衣泳の講習会が、７月11日に本城小学校で開催され、３～６年生の児童が受講しました。

救命救急士を講師として招き、水の事故の約８割が服を着た状態で起きていることや、万が一、服を着たまま水に落ちてしまった時の対処法などを、クイズを交えて理解を深めました。

その後、プールに移動して着衣泳に挑戦。初めは服を着たままでの水中の動きづらさに、戸惑いと不安の様子でしたが、体の力を抜き「ラッコ」のように浮いて待つコツをつかんだ児童が、次々と浮かび上がることに成功。気が付けば、プールには、たくさんの「ラッコ」が誕生していました。

水辺のレジャーが増えてくる季節、もしもに備えた正しい知識について、今一度ご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

Data

人　口	**3,334**	**人（−13）**
男性	1,609	人（−　2）
女性	1,725	人（−11）
世帯数	**1,490**	**世帯（−　2）**
令和４年度出生者数		**１人**

７月１日現在　（　）内前月比

Pick Up

2　小原名物試食審査会 @ 加茂丘高校

3　おばら防災 DAY を開催します！

※おばらだよりは豊田市ホームページからも見ることが出来ます。　http://www.city.toyota.aichi.jp/

豊田市役所小原支所　〒470-0592 豊田市小原町上平 441-1
Tel:0565-65-2001　Fax:0565-65-3695　E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

IN 加茂丘高校
小原名物試食審査会

小原商工会の依頼を受けた加茂丘高校の生徒たちが、小原の特産品と魅力をぎっしり詰め込んだ「OBRサンド」を開発しました。

7月14日には同校で試食審査会が開催され、「豆腐ハンバーグサンド」と「豆乳プリン」が振舞われました。また、「舞茸豆腐バーグサンド」や「鮎サンド」など、生徒たちが考案した様々なOBRサンドもスライドで紹介され、レシピ集が披露されました。

「小原をもっと元気にしたい」という生徒たちの思いが込められた今回のプロジェクト。 新たな小原の名物として、地域の活性化につなげていきたいですね。

発見！ 小原のボランティアさん

大ケ蔵連産のしそを梅酢で

ふくしの里 いきいき教室
しそ漬け体験

小原福祉センターふくしの里では、ボランティアさんが中心となって様々な体験教室が開催されています。

7月14日には、しそ漬け体験教室が開催され、10名の参加者がしそを塩と梅酢で揉み込む作業に挑戦。鮮やかな紫色のあく汁を取り除き、しそ玉をつくって梅に漬けました。また、お土産に用意された特製のしそジュースは、かき氷にかけてもおいしいとのことで、色々なアイデアがボランティアさんから紹介されました。

皆様も、ふくしの里いきいき教室に参加して、交流の輪を広げてみませんか。

【問合せ】ふくしの里☎65-3350

昭和47年7月豪雨災害　エピソード募集

豊田市役所小原支所では、47災害の体験を後世に継承していくことを目的に、当時の記憶や経験に基づくエピソードを募集します。ご応募いただいたエピソードは、9月に開催する「おばら防災DAY」等で紹介する予定です。詳しくは小原支所までお問い合わせください。

◆募集内容◆

昭和47年7月豪雨災害にまつわる作品

聞き書き部門
被災した人から体験談を聞き取り書いたもの

エピソード部門
被災した人がご自身で書いたもの

イラスト・写真部門
聞いた内容を絵や写真で表現した作品

【受付・問合せ】
〒470-0592 豊田市小原町上平441-1
豊田市役所小原支所 地域振興担当　☎65-2001

◆応募資格◆

小原地区に在住在勤されている方又はされていた方。

◆応募方法◆

専用の応募用紙を配布しますので、必要事項をご記入のうえ、9月2日までに作品を小原支所までご提出ください。詳細は配布文書にてご案内いたします。

◆感謝品◆

ご応募いただいた方の中から、抽選で50名の方に、小原商工会発行の商品券500円分を贈呈いたします。

昭和47年7月豪雨災害50周年事業

おばら防災DAY

【会場】
小原交流館

今年は昭和47年7月豪雨災害から“50年”を迎える節目の年です。
小原地区では、当時の記憶を後世に伝えるとともに、防災に対する正しい知識と、日頃の備えの重要性を理解してもらうことを目的として、「おばら防災DAY(デイ)」を9月18日(一部イベントは19日まで)に開催します。
ぜひこの機会に、防災について学びにお越しください。

講演・パネルディスカッション　9/18(日)14:00～15:30

47災害時の気象状況を現代の科学で読み解く！
CBCテレビでおなじみの気象予報士 桜沢信司さんと名古屋大学大学院の杉山範子さんが最近の極端な気象現象などをもとに、災害への備えについて解説します。

CBCテレビ チャント！でおなじみの桜沢さんがやってくる！

気象予報士　桜沢信司さん

名古屋大学大学院 環境学研究科
特任准教授　杉山範子さん

おばら防災キャンプ　9/18(日)～19日(月・祝)
～47災害を忘れない～

避難所での生活を1泊2日で疑似体験。
避難時を想定した食事づくりやゲームなどを通して、実際の避難時に必要なものは何かを、体験を通して学ぶことができます。実際の避難所で過ごす貴重な体験をしてみませんか？

参加者募集中！

15組60名(原則、小学生以上)を募集！
宿泊は、避難所内、テント泊、車中泊から選べます(テントはご持参のもの)。
おばら防災キャンプへの参加者募集のチラシを別途配布しますので、詳細はそちらをご覧ください。

各種展示・体験コーナー　9/18(日) 13:00～16:00

災害に関する様々なパネルや資機材の展示、各種機関による体験コーナーを設けます。

避難所用間仕切りシステム

普段は、なかなか見られないものばかり。ぜひ見に来てね！

大雨警報等が発令された場合は、予告なく中止となることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響で内容が変更になる場合があります。

【主催・問合せ】豊田市役所小原支所　電話65－2001

大草子育て支援センターからのお知らせ

☆9月のイベント☆

○6日(火)おはなしおばさん(要予約)
10:30～11:15

○8日(木)身体測定(要予約)
10:00～11:00

○15日(木)親子食育講座(要予約)
10:00～11:00

【園庭・室内開放】(予約の必要はありません)
平　日:午前9時～正午、午後1時～5時
※行事等で室内の利用ができない場合があります。
詳しくはこども園にお問い合わせください。
問合せ:大草こども園　☎65－2045

小原福祉センター ふくしの里からのお知らせ

第二回　家庭介護者交流会

藤岡の介護者の方々と一緒に、介護施設の見学と意見交換をして、交流を深めましょう♪

日時　９月１３日（火）午前９時～午後３時（予定）
集合　８：４５（小原福祉センターふくしの里）
見学先　グループホームサライ上豊田、他
対象　ご家庭で介護をされている方、高齢者と同居されている方
内容　介護施設見学と意見交換
申込　8月31日までにふくしの里へ電話（先着順）
その他
✓ ふくしの里から現地までの送迎車が出ます
✓ 現地集合・現地解散も可
✓ 飲み物と食事代を各自で準備ください

【申込・問合せ】ふくしの里65-3350

国などの困りごと相談

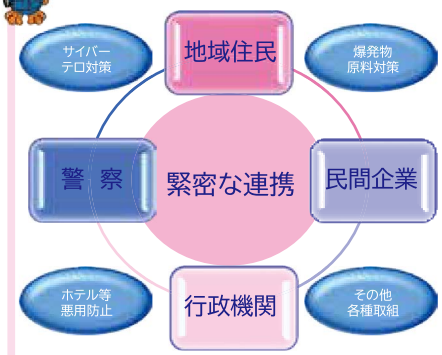
豊田市では、国などの仕事に対する要望・意見について、行政相談委員による相談窓口を設置しています。豊田市役所小原支所でも出張窓口が開催されますので、ご活用ください。

◇日　時…9月21日(水) 午後1時半から3時半
◇場　所…小原支所 2階会議室
◇対　象…市内在住在勤の方
◇申　込…事前の予約は必要ありません

相談は無料で秘密厳守。録音録画はご遠慮ください。

【問合せ】 市民相談課　☎34-6626

駐在所だより　テロ対策　強化中！



テロ対策のパートナーシップ

テロ対策は警察だけではなく、行政機関、民間事業者、そして地域住民のみなさんと緊密に連携して推進することが必要です。不審者・不審物を発見したときは、豊田警察署への通報をお願いします。

駐在所への連絡は 35-0110(豊田警察署)へ
駐在所へつないでもらえます

防災訓練

小原地区では自主防災会が主体となり、毎年9月1日に防災訓練を実施しています。今年度は、非常呼集の合図として、警戒宣言の発令(午後8時にサイレンを吹鳴)を行います。

◆実施日　9月1日(木)　午後8時
防災の日

◆内容(例)

【非常呼集】
警戒宣言の発令(午後8時サイレンの吹鳴)を合図に実施

【避難訓練】
各自主防災会長の指示により各地区で決められた避難所へ避難

【初期消火訓練】
避難場所等において消防団の協力により消火器を利用した消火訓練を実施

【防災倉庫の点検】
資器材の点検と確認を行い、備えてある物品等をチェック

※コロナウイルスの影響により緊急事態宣言等が愛知県で発出している場合は、サイレンの吹鳴を実施しません。また、訓練当日に大雨・洪水注意報、警報が発表されたとき、又は県下に震度5弱以上の地震が発生したときは、訓練を中止します。

各地区で訓練の内容が異なります。
詳しくは、それぞれの自主防災会に確認してください。

小原交流館だより

豊田市小原交流館
小原地区コミュニテイ会議
豊田市永太郎町落 681－1
TEL /0565-65-3711
FAX /0565-65-1189
http://ph-toyota.jp/guide/obara/

今年度より、小原中学校学校祭と合同開催 !!

令和４年度 小原文化まつり 10 月 23 日(日) 9:00～15:00

※写真は令和３年度
小原文化まつりの様子

一般参加募集中 !!

【展　示】絵画・習字・陶芸等の作品　　【芸　能】ホール舞台でのダンス・演奏など
【体　験】ものづくり・参加型イベント　　【マルシェ】手作り品・農産物・飲食物等の販売
【申込み】８月 14 日（日）締切 ※詳細・申込用紙は交流館窓口まで。

令和５年二十歳のつどい

【日　時】令和５年１月８日(日) 受付 13:30～ 開始 14:00～ 終了予定 16:00
【対　象】平成 14 年４月２日～平成 15 年４月１日生まれの方
【場　所】小原交流館　【問合せ】豊田市役所次世代育成課　☎34-6630

小原地区に住所がない方で
地区異動希望の方はこちらへ

講座案内

「小原魅力発見隊」パート１

【日　程】９月 11 日(日) 13:30～15:30
【内　容】小原和紙の花飾り
【対　象】20 歳以上 先着 16 人
【ところ】小原交流館　研修室１・２
【参加費】2,000 円
【申込み】８月 20 日(土) 10:00～

四季桜と紅葉をイメージ▲

豊田市歌舞伎伝承館講座 地歌舞伎の楽しみ

バスで巡る　秋の農村舞台

【日　程】９月 17 日(土) 9:30～12:30
【内　容】現地で地歌舞伎や舞台について学ぶ
【対　象】中学生以上 先着 12 人
【ところ】伝承館、農村舞台(小原･藤岡)
【参加費】無料
【申込み】８月５日(金) 10:00～

◆申込み・問合せ 小原交流館　☎ 65-3711　先着順 窓口優先・電話可

※新型コロナの感染状況により日程などが変更になる場合があります。
各講座の詳細はチラシをご覧ください

交流館講座報告

「おばらっき一組 春夏編」

７月 15 日の３回目は、親子ヨガの体験と、写真の撮り方のコツを学び、フォトブースを作って撮影に挑戦しました。

スポーツ部会から

「小原ニュースポーツ大会」を開催！

【日程】９月 25 日(日) 9:00～12:00
【場所】緑の公園（雨天中止）
【競技】ペタンク、グラウンド･ゴルフ、ディスクゴルフの３種目

※詳細はチラシをご覧ください

和紙のふるさと通信

http://www.washinofurusato.jp

豊田市永太郎町洞 216-1
小原和紙美術館　TEL0565-65-2151
和紙工芸体験館　TEL0565-65-2953

豊田国際紙フォーラム ポスト事業

寿岳文章・静子夫妻
― 紙すき村旅日記展 ―

令和４年８月９日（火）～　令和４年 10 月 23 日（日）

和紙調査旅行中の寿岳夫妻

昨年度開催された「豊田国際紙フォーラム」のポスト事業として、「寿岳文章（じゅがくぶんしょう）・静子（しづこ）夫妻 紙すき村旅日記展」を小原和紙美術館で開催します。寿岳文章・静子夫妻が約 80 年前に全国の和紙産地を調査し、収集したコレクションを展示。普段は兵庫県多可郡多可町の「寿岳文庫」でしか見られない貴重な資料です。是非この機会に寿岳夫妻が調査旅行で集めた資料を通して、当時の職人の和紙にかける思いをご鑑賞ください。

会場：豊田市小原和紙のふるさと
　　小原和紙美術館
入館料：１人 200 円（中学生以下無料）
開館時間：午前９時から午後５時
　　（入館は午後４時 30 分まで）
休館日：月曜日（祝日の月曜は開館）

◆展覧会ご案内◆

かのうともみひさし 展覧会
和紙「掌の記憶」～涼風至　すずかぜいたる～

日時：８月９日（火）から８月 14 日（日）
　　10：00～18：00　（最終日 16：00）
場所：ノリタケの森ギャラリー　第１展示室

清涼な小原薄様和紙とデザイン和紙の作品を展示

写真▶
R3年度農村舞台アートプロジェクトでの様子

◆和紙ふるトピックス◆

次回の展示予告

「藤井達吉と芸術Ⅷ」

と　き：８月９日（火）～10 月 23 日（日）
ところ：小原和紙美術館２階
藤井達吉の日本画、陶器、一閑張など、小原和紙美術館収蔵品を展示します。

全国手漉き和紙青年のつどい豊田大会

「ペーパーレス時代における和紙の力」をテーマに、７月 30 日（土）・31 日（日）の２日間、産業文化センターと小原和紙のふるさとを中心に開催されました。全国から手すき和紙の関係者が集まり、意見交換を行うなどして、有意義な２日間となりました。